

令和4年度 第1回 引佐南部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年4月28日（木） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 引佐南部中学校 2F会議室
- 3 出席委員 内山 哲哉、安戸 哲弘、河村 壽子、石野 由美子、山村 行弘、
眞鍋 和親、永田 琢也
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 佐藤 安彦（校長）、北野 昌宏（教頭）、十河 直美（CS担当教員）、
荒谷 朋子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - （1）委員任命及び自己紹介
 - （2）コミュニティ・スクールについての説明（浜松市教育委員会より）
 - （3）会長の選出及び副会長の指名について
 - （4）議長の選出について
 - （5）熟議 ① 引佐南部中学校運営基本方針について
② 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 荒谷 朋子
- 11 会議記録

司会の北野教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）委員任命及び自己紹介

司会から、新たな委員の任命が行われ、机上に任用通知は配布をした。また自己紹介を行った。

（2）コミュニティ・スクールについての説明

コミュニティ・スクールについて浜松市教育委員会教育総務課 小川より説明があった。

（3）会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、安戸委員から内山委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された内山委員から、山村委員を副会長に指名する旨の報告があった。

（4）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内山会長から今回は立候補をする旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(5) 熟議

① 引佐南部中学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ P T A会費の納入について、今までの方法と今後の方法は？ P T Aがどのような活動をしているか、組織に対する不安や不理解が不払いや不加入につながるのか心配。(安戸委員)
→今までは、1世帯年間2,700円を学校徴収金とともに口座振替していたが、給食費の公会計化に伴い、今年度より活動の見直しも行い、一人年間2,000円をコンビニ収納で徴収することとした。入学式やP T A総会でP T Aの意義を説明した上で、加入確認書をとっている。(校長)
- ・ 不登校や教室に入れない子が心配。市全体でもコロナ禍において虐待なども増えている。少しでも運営協議会でも協力できたらしたい。いじめのない学校にしたい。(河村委員)
→不登校については、家庭訪問等を通して、保護者と連携して対応している。(校長)
- ・ 不登校の原因はどういったものか。(石野委員)
→きっかけは行事でうまくいかなかったり、中学校の生活リズムに慣れなかったりなどいろいろなケースがあるが、明確な原因はわからないこともある。(校長)
→はっきりとした理由が答えられない場合も多い。(教頭)
→本校生徒の不登校の子の特徴として、友達関係は続いていて、大きいイベントには参加出来る子も多い。それを受け入れる周りの寛容性もある。(十河CS担当教員)
- ・ 中学3年生の進学や就職の割合はどうか。進学してやめる子や、もしくはそれ以外に進んでいる子はいるのか？(永田委員)
→ほぼ全員が進学している。県外に進む子はあまりいないが、浜松中部地区の高校に進学する子はいる。(校長)
- ・ 授業改善について。不登校や自宅待機の子などへのアプローチはどうしているのか。オンラインでの対応などはどうなっているか。オンラインやオンデマンドと、対面授業とのハイブリッドなどを行っている事例もあり、その研究も行っているのだから、研究成果の還元もできれば、と思う。(眞鍋委員)
- ・ 過去にもデジタルはあったようだが、勉強についていけず、さらに不登校になることもありうる。(河村委員)
→タブレットの持ち帰りがOKになったので、貸し出してドリルなどを配布したり、ライブではないが、オンデマンドでクラスルームにのせて授業を限定公開したりすることはあるが、統一はしておらず個別の対応となる。対面が現在基本。連絡は取りあい、タブレットも有効活用していきたい。教員のスキルアップも必要である。(校長)
- ・ 学校経営目標の⑧「法令を遵守するとともに、働き方改革を推進して…」は具体的にはどのようなことか。また目指しているところは実現可能か。(山村委員)
→不祥事0を目指し、倫理研修をしてコンプライアンス遵守を目指している。南中(N)働き方(H)改革(K)(NHK)を行い、子供と向き合うために学期ごとに見直している。超過勤務等にはタブレットでタイム管理を行い、可視化している。少しずつ改善しているというところ。(校長)

- ・ 実際に子供の姿を見て、先生たちの声も聞いて運営協議会をやっていきたい。(内山委員)
- ・ 引佐にこども食堂が初めてできる。子供や独居老人などを対象としているが、困っている声を吸い上げることを目的にしている。情報を今後共有できたらと思う。(河村委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

② 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書と、資金の使い道について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 職場体験はどのように行う予定か。(内山委員)
→ 1年は地域学習、2年は職場体験、3年は生き方学習（講師を招いて、ライフプランを立てたりする）を行っている。職場体験はコロナ禍で2年間出来ていない。地域とのつながりにぜひ力を貸していただきたい。活動の提案などもありがたい。(教頭)
- ・ 活動の提案は次年度に向けて行っていきたい。(内山委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他連絡事項

- (1) 次回開催予定
第2回 令和4年7月6日(水) 13時30分～
- (2) 次回議長選出
次回の議長は安戸委員に決定。3回目は山村委員に決定
- (3) 山村委員より、奥山に最終処分場ができる関係で、谷沢や狩宿など道幅いっぱいに大型トレーラーが朝通っていることの報告があった。一応登校時間はさけているようだが、下校時間帯は不明のため、注意してほしいとのこと。